

## 臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報および保管検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 自己免疫性胃炎早期例の臨床病理学的検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究責任者名・所属] 小野 尚子・北海道大学病院 光学医療診療部 教授

[研究の目的] 自己免疫性胃炎早期例の内視鏡所見および病理組織所見の特徴および相互の関係性を明らかにする。更に、自己免疫性胃炎早期例と類似した内視鏡所見をもつPPI(プロトンポンプ阻害薬)/PCAB(カリウムイオン競合型酸ブロッカー)の内服症例を対照として、両者の病理組織学的所見を比較および検討する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

- ①当院において2023年11月20日から2026年9月30日の間に通院または入院された方のうち、自己免疫性胃炎早期例と診断された方。
- ②当院において2023年11月20日から2026年9月30日の間に通院または入院された方のうち、明らかな*H.pylori*（ピロリ菌）感染歴がなく、かつ1か月以上のPPI/PCAB内服歴がある方。

○利用する検体・情報

検体：内視鏡検査時に診断目的で採取された胃粘膜生検検体、または内視鏡切除時や外科切除時に採取された診療残余検体

（「北海道大学病院 消化器内科 内視鏡グループ：診療目的で採取された血液・組織・消化管廃液や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用」という研究に同意いただき採取し、保管している検体を用います）  
クロモグラニンA、ガストリンなどのタンパク質を測定します。

情報：2015年1月1日から2027年5月31日までのカルテ情報を収集します。

年齢、性別、診断名、症状、合併症、内服薬、家族歴、血液検査結果、ピロリ菌検査結果、内視鏡画像、病理組織診断結果

[研究実施期間]

2025年12月28日（第2版）

実施許可日～2027年9月30日（登録締切日：2026年09月30日）

（検体・情報の利用開始：2025年7月頃）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの検体・情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院光学医療診療部 担当医師 小野 尚子

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7867